

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪府中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

◇ サラリーマンの平均給与は3年連続の減少

Q : 平成12年分の民間給与の実態調査の結果が取りまとめられたそうですが、どのような結果でしょうか。

A : サラリーマンの平均給与は前年比0.1%減の461万円で、3年連続の下落となっています。

【解説】

国税庁はこのほど、平成12年分民間給与の実態調査結果を発表しました。

それによると、1年を通じて勤務した給与所得者数は4,494万人（対前年△0.1%、4万人の減少）で、その平均給与は461万円（同△0.1%、3千円の減少）となっています。

平均給与の内訳は、給料が380万円、賞与が81万円で、前年に比べ給料は5千円の増加、賞与は9千円の減少となっています。

男女別にみると、給与所得者数は男性2,839万人（同0.0%、横ばい）、女性1,655万人（同△0.3%、5万人の減少）で、その平均給与は男性567万円（同△0.2%、9千円の減少）、女性280万円（同0.0%、1千円の増加）となっています。

業種別に平均給与をみると、化学工業が569万円で昨年に引き続きトップとなっています。以下、金融保険・不動産業、金属機械工業という順番で、この順位には昨年から変動がありません。

ちなみに、この調査は平成12年12月31日現在の給与所得者を対象としており、公務員などは対象外となっています。

